

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務 I Travel Agency Work-Domestic Travel I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(国内旅行業務取扱管理者試験必修)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清		火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
国内旅行を計画するにあたって必要な、交通機関の運賃・料金や宿泊機関の規則や計算の方法を学ぶ。また、国家資格である「国内旅行業務取扱管理者試験」にも対応する講義内容である。				
授業の目標				
①運賃や料金の仕組みを修得出来るようにする。 ②国家試験合格レベルに達することが出来るようにする。				
授業の方法				
講義が主体であるが、過去に出題された国家試験問題の取組み等も含めて、より実践的な内容となる。パワーポイント資料を配布し、設問形式で答えさせる流れを基本に進めていく。				
学習の成果(学習成果)				
JR・航空・フェリー等の交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関の料金の算出方法が身に付き、国内旅行商品の基本構造も説明出来るようになり、国家試験にもチャレンジすることが出来る。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(講義の進め方)			
第2回目	JR運賃①(旅客営業規則・乗車券類発売の概要)			
第3回目	JR運賃②(運賃計算・幹線と地方交通線・本州3社と3島会社)			
第4回目	JR運賃③(連絡運輸・通過連絡運輸・普通乗車券の種類・運賃計算の特例)			
第5回目	JR運賃④・料金①(普通乗車券の効力・運賃の割引・料金計算の基本)			
第6回目	JR料金②(特別急行料金・特急券の様式・新幹線の特急券)			

第7回目	JR料金③（グリーン料金・寝台料金・乗継割引）
第8回目	JR運賃その他の取扱い（乗車券類の変更・払戻し・団体乗車券の発売他）
第9回目	JR運賃・料金（理解度チェックテスト）
第10回目	航空運賃・料金①（航空券発売の概要）
第11回目	航空運賃・料金②（運賃・料金規則等）
第12回目	貸切バスの運賃・料金規則
第13回目	フェリーの運賃・料金規則
第14回目	宿泊料金の規則
第15回目	全体のまとめ

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。 S評価の基準：上記参加態度を全て満たす者。
レポート		
調査報告書		
小テスト	40%	JR運賃・料金の学習（第8回目）が終了したら中間チェックテストを実施し、理解度を確認する。S評価の基準：S=90-100
試験	40%	JR運賃・料金も含む全体の内容に関して、その理解度を確認する。S評価の基準：S=90-100
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

国内運賃・料金（JTB総合研究所）
-------------------

履修上の留意点・ルール

3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中で無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。
--